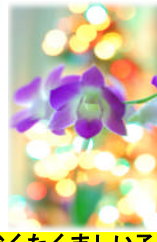


学校だより



アビラ



第20号
(通算183号)

平成 28 (2016) 年 6 月 17 日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

「次の創立50周年に向けて、新しい木を植える…」それが41年目の運動会です～
ベネズエラの大地に根付いた「運動会」「日本人学校」という大樹をさらに大きく育てましょう！



■■■ 運動会2日前の光景です。準備は着々と進み、明日の開会の日を待つばかりです！ ■■■



左からジャカランダ、ブカレ、ロサ・デ・モンターニャの木の写真です。昨年 11 月に創立 40 周年の記念に校庭に植えました。根付くかと心配していましたが、乾期にもせっせと水やりをし、8ヶ月経った今、根付きました。大変嬉しいことです。

次の 10 年のために木を植えることは容易なことです。しかし、その木を育てることは大変なことです。今年の運動会は次の創立 50 周年に向けての第一歩です。この 2 年間で新しい取組も始

めてきました。参加者全員で踊る両国の踊り、和太鼓演奏、教職員全員による準備作業、情宣活動の徹底…。新しい船に新しい水夫も乗り未知なる創立50周年という大海に向かう航海にみんなで漕ぎ出しましょう！

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために… (その112)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 7

今のような邦人・日系人会・ベネズエラの方々に参加する形の運動会が考え出されたのは 10 年以上前になります。しかし、当初は参加するベネズエラの方も少なく、やはり邦人中心の大会で、参加者も 200 名余りだったようです。当時の一般綱引きやリレーのトーナメント表を見ても、10 に満たないチームの参加です。それが、今のように参加者が 400 名を越すまでになったのは、その後の学校や関係者の地道な努力によるところが大きかったと思います。今は、日本語を学ぶ学生の方々や日本文化に関心を持つ方々を中心に、参加者は増え続け、1年前から問い合わせが来るほどベネズエラ社会に「日本の伝統的な楽しい行事」として完全に定着しました。これからの 10 年でますます参加者が増えることを願います。

